

北海道医療大学病院 歯科医師臨床研修プログラム

1. 研修プログラムの特色

患者および家族とのより良い人間関係を築き、全人的な視点から得られた医療情報を理解し、それに基づいた総合治療計画を立案する。歯科疾患予防および治療における基本的技能を身につけるとともに、自ら行なった処置の経過を観察、評価し、診断と治療に常にフィードバックする態度・習慣を身につける。

2. 臨床研修の目標（到達目標）

○ 臨床研修の目標の概要

歯科医師臨床研修の目標は、患者中心の全人的医療を理解し、すべての歯科医師に求められる基本的な診療能力（態度、技能および知識）を身に付け、生涯研修の第一歩とすることである。なお、この目標については、研修プログラムを定めてから2年ごとにプログラム責任者、および副プログラム責任者が実施プログラムの実施状況・達成状況を評価・検証した結果を踏まえ、当該研修年度の年度末に開催される臨床研修管理委員会において、評価・再検討を実施し、見直しを図る。

- (1) 歯科医師として好ましい態度・習慣を身に付け、患者及び家族とのよりよい人間関係を確立する。
- (2) 全人的な視点から得られた医療情報を理解し、それに基づいた総合治療計画を立案する。
- (3) 歯科疾患と障害の予防および治療における基本的技能を身に付ける。
- (4) 一般的によく遭遇する応急処置と、頻度の高い歯科治療処置を確実に実施する。
- (5) 歯科診療時の全身の偶発事故に適切に対応する能力を身につける。
- (6) 自ら行った処置の経過を観察、評価し、診断と治療に常にフィードバックする態度・習慣を身に付ける。
- (7) 専門的スキルや高度先進的歯科医療に接し、生涯研修の意欲への動機付けを図る。
- (8) 歯科医師の社会的役割を認識し、実践する。

3. 臨床研修を行なう分野

- 研修歯科医の指導体制 ～ 各診療科の指導歯科医は、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例がある場合は、指導歯科医等の患者の症例を配当する。
- 症例数の数え方 ～ 治療の流れを連続して経験した場合を1症例として数える。
- 修了判定の評価基準 ～ 目標達成の基準として、合計17例以上経験していることが必要。ただし、①から⑰までの行動目標ごとに設定されている必要な症例数以上を経験していることが必要。

到達目標	研修内容	必要な症例数
①医療面接の実践 患者中心の歯科診療を実施するために、医療面接についての態度、技能および知識を身に付ける。	(1) 適切で十分な医療情報を収集する。	10
	(2) コミュニケーション技能を習得する。	
	(3) 病歴（主訴、現病歴、既往歴および家族歴）の聴取を的確に行う。	
	(4) 病歴を正確に記録する。	

	(5) 患者の心理・社会的背景に配慮する。	
	(6) 患者・家族に必要な情報を十分に提供する。	
	(7) 患者の自己決定を尊重する。(インフォームドコンセントの構築)	
	(8) 患者のプライバシーを守る。	
	(9) 患者のQOL(Quality of Life)に配慮する。	
	(10) 患者教育と治療への動機付けを行う。	
②総合診療計画 効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合治療計画の立案に必要な能力を身に付ける。	(1) 基本的な診察・検査を実践する。	10
	(2) 基本的な診察・検査の所見を判断する。	
	(3) 得られた情報から診断する。	
	(4) 適切と思われる治療法および別の選択肢を提示する。	
	(5) 十分な説明による患者の自己決定を確認する。	
	(6) 一口腔単位の治療計画を作成する。	
③予防基本技術 歯科疾患と機能障害を予防するために、必要な基本的技術を身に付ける。	(1) 基本的な予防法の手技を説明する。	3
	(2) 基本的な予防法の手技を実施する。	
④歯周基本治療の実践 的確な歯周基本治療を行うために、必要な臨床能力を身に付ける。	(1) 歯周基本治療の意義を説明する。	3
	(2) 歯周治療の治療方針を立案し、患者に説明する。	
	(3) 歯周治療における動機づけを行う。	
	(4) 口腔清掃状態を評価し、患者に説明する。	
	(5) 適切な口腔清掃方法を選択し、患者に説明する。	
	(6) 各種スクレーラーの特徴を理解し、適切に使用する。	
	(7) 歯周組織の改善を評価し、患者に説明する。	
⑤う蝕治療の実践 う蝕治療を行うために、必要な知識・態度・技能を身に付ける。	(1) う蝕の原因や歯の保存意義を説明する。	3
	(2) う蝕治療の意義を説明する。	
	(3) う蝕診査法を実践する。	
	(4) 診査結果をもとに治療計画の策定する。	
	(5) う蝕治療法を患者に説明する。	
	(6) 適切な器材を選択し、使用する。	

	(7) 歯髄保護治療を実践する。	
	(8) コンポジットレジン修復治療を実践する。	
	(9) インレー修復治療を実践する。	
	(10) う蝕治療後のメンテナンスを実践する。	
⑥歯内療法の実践 歯髄疾患および根尖性歯周疾患の診察・検査・診断・治療法を身に付ける。	(1) 歯髄疾患および根尖性歯周疾患の診断に必要な診査法を理解し、実践する。 (2) 麻酔抜髄の術式・手法を理解し、実践する。 (3) 感染根管治療の術式・手法を理解し、実践する。 (4) 根管貼薬の術式・手法を理解し、実践する。 (5) 根管充填の術式・手法を理解し、実践する (6) 歯内療法の特異的な手技・手法の理論と方法を理解する。 (7) 治療後の経過と治癒過程について理解し予後を判断する。	3
⑦有床義歯補綴治療の実践 有床義歯による機能の回復を行うために、必要な知識・態度および技能を身に付ける。	(1) 適切な検査と診断をする。 (2) 治療計画を立案する。 (3) 治療計画を患者に説明する。 (4) 前処置から経過観察までの一連の処置を説明する。 (5) 前処置から経過観察までの基本的な治療過程を実践する。 (6) 予後管理の重要性を説明する。	3
⑧歯冠補綴治療の実践 歯冠補綴および数歯欠損を有する患者の機能と審美性を回復するために、必要な知識・態度および技能を身に付ける。	(1) 適切な検査と診断をする。 (2) 治療方針を立案する。 (3) 治療計画を患者に説明する。 (4) 各種支台築造法の特徴を説明する。 (5) 基本的な支台歯形成を実践する。 (6) 症例に応じた印象法の種類と術式を説明する。 (7) 症例に応じた咬合採得法の種類と術式を説明する。 (8) 歯科技工士に適切な指示を行う。 (9) 装着を実践し予後管理の重要性を説明する。	3
⑨外来小手術における基本手技(消毒、麻酔、切開、縫合、抜	(1) 歯肉あるいは歯槽膿瘍に対する基本的な処置を実践する。	3

<p>系)</p> <p>一般的な歯科口腔外科的処置が必要な患者に対する必要な臨床能力を身に付ける。</p>	<p>(2) 口腔粘膜の縫合の基本手技を実践する。</p> <p>(3) 抜歯の基本的な処置を実践する。</p>	
<p>⑩小児患者における歯科治療の実践</p> <p>小児患者の歯科治療を行うために、必要な知識・態度および技能を身に付ける。</p>	<p>(1) 保護者にう蝕の成因ならびに予防の重要性を説明する。</p> <p>(2) 小児患者に基本的な歯科治療を行う。</p> <p>(3) 適切なう蝕予防処置を行う。</p>	1
<p>⑪歯科治療における有病者の評価</p> <p>有病者の歯科診療を安全に行うために、必要な基本的知識・態度および技能を身に付ける。</p>	<p>(1) バイタルサインを観察・計測し、異常の有無を評価する。</p> <p>(2) 服用薬剤の歯科診療に関連する作用を説明する。</p> <p>(3) 全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。</p> <p>(4) 摂食嚥下障害患者について理解する。</p>	3
<p>⑫医療安全・感染予防・医療管理</p> <p>円滑な歯科診療を実施するために、必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度および技能を身に付ける。</p>	<p>(1) 医療安全対策を説明する。</p> <p>(2) アクシデントおよびインシデントを説明する。</p> <p>(3) 医療過誤について説明する。</p> <p>(4) 院内感染対策(Standard Precautionsを含む)を説明する。</p> <p>(5) 院内感染対策を実践する。</p> <p>(6) 適切な放射線管理を実践する。</p> <p>(7) 薬物の適正管理を実践する。</p> <p>(8) 医療機器の点検整備を実践する。</p> <p>(9) 廃棄物を適切に処理する。</p>	2
<p>⑬保険診療のしくみ</p> <p>わが国における保険医療制度を理解し、保険診療を行うための基本的知識と態度を身に付ける。</p>	<p>(1) 保険医療制度について説明する。</p> <p>(2) 保険診療と自費診療の違いについて説明する。</p> <p>(3) 保険医について説明する。</p> <p>(4) 保険医療費担当規則を説明する。</p> <p>(5) 保険診療を実践する。</p>	1
<p>⑭診療録の記載</p> <p>日常診療における診療録記</p>	<p>(1) 診療録に関する法律を説明する。</p> <p>(2) 記載すべき事項について説明する。</p>	1

<p>載ができるようになるために、必要な基本的知識・技能および態度を身に付ける。</p>	<p>(3) 診療録の法的意義について説明する。</p> <p>(4) 研修歯科医用診療記録簿への正しい記載を行う。</p> <p>(5) 個人情報の保護について遵守する。</p>	
<p>⑮在宅訪問歯科診療</p> <p>在宅の要介護高齢者や障害者に歯科診療を提供するために、必要な知識・態度および技能を身に付ける。</p>	<p>(1) 在宅訪問歯科診療の重要性について説明する。</p> <p>(2) 在宅訪問歯科診療受診者の口腔内の特徴を説明する。</p> <p>(3) 地域の医療機関や施設と連携する。</p> <p>(4) 在宅訪問歯科診療に使用する器材を操作する。</p> <p>(5) 在宅で行う基本的な歯科診療を実践する。</p> <p>(6) 歯科衛生士と共同で診療を行う。</p> <p>(7) 安全に配慮した診療を行う。</p> <p>(8) 他医療職との連携を図る。</p>	3
<p>⑯歯科保健活動</p> <p>地域歯科保健活動についての理解を深めるために、必要な知識・態度および技能を身に付ける。</p>	<p>(1) 地域歯科保健活動を説明する。</p> <p>(2) 歯科健診の必要性について説明する。</p> <p>(3) 学校や職場などにおいて歯科健診活動を実践する。</p>	1
<p>⑰歯周外科の基本手技を習得するためのシュミレーション実習</p> <p>歯周外科処置を実施するために必要な技術を身につける。</p>	<p>(1) 各種歯周外科処置の術式を理解する。</p> <p>(2) Modified Widman Flap の術式を習得する。</p> <p>(3) 歯肉弁根尖側移動術の術式を習得する。</p> <p>(4) 遊離歯肉移植術の術式を習得する。</p>	1